

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム 第2とよた苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
|---|-----------|---------------|--------------------|
| コミュニケーションロボット | | スマイルベーター スマイビ | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
| 30年 9月 1日 | 5台 | 30年 9月 1日 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| <p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 コミュニケーションロボット「スマイビ」の導入により、認知症の周辺症状の減少が期待でき、職員のストレスの軽減と介護時間の確保に繋がると考える。</p> <p>【導入スケジュール】 当該助成金の採択後、諸手続きを経て導入を図り、認知症利用者を対象に利用を開始する。</p> | | | |
| <p>【倫理面への配慮】 ご家族に対して、ロボット導入に関する説明を行う。</p> | | | |
| <p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>このロボットを導入する事で、認知症の周辺症状が改善し、介護時間の短縮、介護従事者の精神的、肉体的ストレスの軽減を図る。</p> | | | |
| <p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>認知症の方が、このコミュニケーションロボットを「お世話する」という行為を通し、自分が必要とされる喜びや、楽しさを感じる事ができ、精神的なQOLが向上すると考えられるため、介護従事者の介護負担の軽減が期待される。</p> | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会)

事業所名 (特別養護老人ホーム 保見の里)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
|---|-----------|---------------|--------------------|
| コミュニケーションロボット | | スマイルバスター スマイビ | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
| 30年 9月 1日 | 1台 | 30年 9月 1日 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| <p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>【事業概要】 コミュニケーションロボットを導入する事により、認知症周辺症状が緩和され、職員の精神的な負担軽減が期待出来る。</p> <p>【導入スケジュール】 当該助成金の採択後、諸手続きを経て導入を図り、認知症利用者を対象に利用を開始する。</p> | | | |
| <p>【倫理面への配慮】 ご家族に対して、ロボット導入に関する説明を行う。</p> | | | |
| <p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>介護従事者への精神的、肉体的ストレスの軽減。 認知症の周辺症状が緩和され、介護時間が短縮できる。</p> | | | |
| <p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>コミュニケーションロボットを「お世話する」という行為を通し、自分が必要とされる喜びや楽しさを感じる事ができ、精神的なQOLの向上が見込める為、介護従事者の介護負担の軽減が期待される。</p> | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会)

事業所名 (特別養護老人ホームとよた苑)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
|---------------|-----------|-------------|--------------------|
| コミュニケーションロボット | | スマイビ | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
| 30年 9月 1日 | 1台 | 30年 9月 1日 | 年 月 日から 年 月 日まで |

【事業概要及び導入スケジュール】

事業概要

- ・認知機能の低下の見られる利用者に、スマイビと関わりを通して、精神面の安定や笑顔や発語が増えるように支援を行う。
- ・介護職員の援助技術の一つとして、スマイビを用いることで、コミュニケーション機能の低下した利用者との関わりの負担軽減を図る。

導入スケジュール

- ・平成30年5月 デモ実施 利用者の反応等確認
- ・平成30年6月 導入について施設内で検討、導入に向けての手続き
- ・平成30年8月 職員への説明会実施。活用方法周知徹底
- ・導入後随時 活用の状況について確認する。必要に応じて勉強会実施

【倫理面への配慮】

- ・介護職員が、スマイビに利用者との関わりを任せきりにするのではなく、関わりから見られる利用者の表情やしぐさを観察し、日ごろの介護に活かしていくことが介護職員として必要なことであると理解できるように指導すること。
- ・全ての人がスマイビとの関わりを望むことはない。事前にスマイビと関わる気持ちがあるかを確認し、関わりを望まない利用者には無理強いをしないことを職員の共通認識とすること。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

スマイビ導入により、利用者の精神面の安定、発語の促し、介護職員では気付くことのできなかった利用者の隠された能力の発見等を通して、適切な介護の提供につなげていくこと。

【介護ロボット導入により期待される効果等】

- ・利用者の認知機能の低下を防ぐ
- ・精神面の不安定な利用者の心の安定を図る
- ・コミュニケーション能力の低下した利用者職員との関わりの橋渡しを行う
- ・介護職員の利用者との関わりから生じる心理的負担の軽減

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人さわらび会)
事業所名 (特別養護老人ホーム 第二さわらび荘)
サービス種別 (介護老人福祉施設)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
|--|-----------|-----------------------------|--------------------|
| コミュニケーションロボット | | PALRO ビジネスシリーズ 高齢者福祉施設モデルII | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
| 平成 30 年 11 月 1 日 | 1 セット | 平成 30 年 10 月 1 日 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| <p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>コミュニケーションロボット PALRO を使用した、職員の業務負担軽減と施設利用者へのサービス向上を目指す。 平成 30 年 10 月を目途に購入し、使用方法のレクチャーを受けた上で同年 11 月を目途に導入</p> | | | |
| <p>【倫理面への配慮】</p> <p>使用前に施設利用者、利用者家族へ導入機器や導入目的についての説明会の実施 施設内にポスターを掲示する等、継続的に告知を実施 使用に際して施設利用者が精神的に落ち着かない等ある場合、使用を停止することとする</p> | | | |
| <p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知機能の低下した利用者への対応についての職員負担の軽減 (一時的コミュニケーションの代替え) ・レクリエーションに関わる職員負担の軽減 (レクリエーションの準備や実施の時間の削減) ・施設利用者への PALRO による声掛けによる職員負担軽減並びに利用者満足度の向上 | | | |
| <p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PALRO はコミュニケーションロボットでありその実証実験で利用者の生活機能の改善が 37%見られ、また職員の負担軽減に関しても 44%が認めている。 ・適切な運用をすることで職員負担の軽減を図り、且つ、利用者の生活機能の改善がみられるという効果を期待している。 ・介護職員の不足は喫緊の課題であり、コミュニケーションロボットによる職員が行う業務の代替え効果を期待する。 | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (医療法人 光生会)
 事業所名 (光生会介護老人保健施設赤岩荘)
 サービス種別 (指定通所リハビリテーション、
 指定介護予防通所リハビリテーション)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | | |
|---|-----------|---|------------------|---------|
| コミュニケーションロボット | | PALROビジネスシリーズ 高齢者福祉施設向けモデルⅡ 型番：PRT-F050JW-BZ | | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) | |
| 30年 9月 1日 | 1 | 30年 8月 21日 | 年 月 日から | 年 月 日まで |
| <p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要 介護従事者の不足や業務負担の増加などの問題を、人間の言葉をよく理解でき、積極的に話しかけながらコミュニケーションを取ることができ、会話ができる介護ロボットを導入することにより、施設スタッフのパートナーとなって負担軽減に大きく貢献していくことを期待する。</p> <p>導入スケジュール 平成30年8月21日までに Wi-Fi環境整備 平成30年8月21日 PALRO購入 平成30年8月21日～8月末 上記機器に携わる職員に対して使用に関する研修会を実施 平成30年9月1日 運用開始</p> | | | | |
| <p>【倫理面への配慮】</p> <p>ご利用者様及びご家族様に対し、ロボット導入、システム等の説明を行い、同意を得た上で導入します。使用に際してご利用者様が精神的に落ち着かない等ある場合は、使用を中止する。</p> | | | | |
| <p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>① 簡単な高齢者レク・ゲームでご利用者様をリードし、利用者様の満足度向上。 ② 介護スタッフの、高齢者用のレクリエーションネタを考えることに費やす時間や負担感を軽減。 ③ 介護ロボットと一緒に楽しく体操することでのリハビリ効果。</p> | | | | |
| <p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>① レクリエーションの雰囲気明るくなり、ご利用者様の心を優しく和ませ、驚きや笑いや癒しをもたらす。 ②施設スタッフの身体的・心理的な負担軽減、 ③業務効率化の向上 ④ 施設スタッフの離職予防</p> | | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (有限会社 愛和)
 事業所名 (サンライフハートネス)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
|--|-----------|-------------|--------------------|
| コミュニケーション | | スマイビ | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
| H30年 9月 1日 | 1 | H30年 9月 1日 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| <p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>事業概要 認知症による不安感や、会話ができないことによる寂寥感の解消をはかる。また、「世話をする」ことにより、帰宅願望や徘徊衝動を和らげ、介護負担を減らす。</p> <p>導入計画 平成30年7月 申請 平成30年9月 機器購入 操作説明会実施後 導入 毎月、カンファレンスにて、利用者の状態を把握 以降 各年度毎に使用状況を報告</p> | | | |
| <p>【倫理面への配慮】</p> <p>ご本人、ご家族にロボット使用についての説明を行い、同意を得てから使用する。</p> | | | |
| <p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p>利用者が穏やかな気持ちで生活を継続する 介護負担を減らし、利用者と向き合う時間を増やす</p> | | | |
| <p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p>無関心になりやすい利用者の感情表現の増加 気持ちの落ち込みの解消 他者への攻撃的な言動の軽減 夕暮れ症候群への対応による、介護負担の軽減</p> | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (有限会社サニーベイル)
 事業所名 (サニーベイルイン鳴海)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
|---|-----------|-------------|--------------------|
| コミュニケーション | | スマイビ | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
| 30年9月1日 | 2体 | 30年9月1日 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| 【事業概要及び導入スケジュール】 入居者様への自立支援における介護職員の負担軽減を、コミュニケーションロボットの技術を用いて図る 導入の決定⇒導入⇒納品⇒介護従事者の利用方法研修⇒利用後の効果検証⇒効果の報告 | | | |
| 【倫理面への配慮】 利用する入居者様の尊厳を尊重し、利用者様ご自身への自立支援と生活支援に重きを置く事とする。 | | | |
| 【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) <利用者様> ・導入後の「会話量、表情の豊かさ、平穏化」による日常生活の向上を通じ、自立性へとつなげる <介護職員> ・入居者様の介助抵抗を喃語言い換えの促しにて事前に抑制し、介護負担軽減(説得負担) ・入居者様の徘徊の抑制を事前に図ることで介護負担軽減(見守り、誘導、転倒防止負担) ・入居者様の不穏、興奮傾向への抑制を事前に図る事での介護負担軽減(なだめる負担) | | | |
| 【介護ロボット導入により期待される効果等】 <利用者様> ・導入後の活性化、平穏化傾向を通じ、日常生活への動作意欲向上に伴う自立性 <介護職員> ・喃語言い換えの促しによる介護抵抗低減に伴う生産性の向上 ・入居者様の徘徊事前抑制に伴う身体的、精神的な負担軽減 ・入居者様の不穏、興奮をなだめる為の身体的、精神的な負担軽減 | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (愛知県同胞援護会)
 事業所名 (大府の郷デイサービスセンター)
 サービス種別 (通所介護)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | | |
|---|-----------|---------------|--------------------|--|
| コミュニケーションロボット | | スマイルベイビー スマイビ | | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) | |
| 平成30年9月1日 | 1台 | 平成30年9月1日 | 年 月 日から 年 月 日まで | |
| 【事業概要及び導入スケジュール】 【事業概要】 コミュニケーションロボット「スマイビ」の導入により、認知症の周辺症状の減少が期待でき、 家族および職員のストレスの軽減と介護時間の確保に繋がると考える。 【導入スケジュール】 当該助成金の採択後、諸手続きを経て導入を図り、認知症利用者を対象に利用を開始する。 | | | | |
| 【倫理面への配慮】 ご家族、担当ケアマネージャーに対しロボット導入に関する説明を行う。 サービス担当者会議等を通じ、他サービスにも経過の報告を行う。 | | | | |
| 【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) このロボットを導入する事で、認知症の周辺症状が改善し、介護時間の短縮、介護従事者の精神的、肉体的ストレスの軽減を図る。 | | | | |
| 【介護ロボット導入により期待される効果等】 認知症の方が、このコミュニケーションロボットを「お世話する」という行為を通し、自分が必要とされる喜びや、楽しさを感じることができ、精神的なQOLが向上すると考えられるため、介護従事者の介護負担の軽減が期待される。 | | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会)

事業所名 (特別養護老人ホーム第2春緑苑)

サービス種別 (介護福祉施設サービス)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
|--|-----------|---------------|--------------------|
| コミュニケーションロボット | | スマイルバ化 - スマイビ | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
| 平成 30 年 9 月 1 日 | 1 台 | 3 0 年 9 月 1 日 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| 【事業概要及び導入スケジュール】 | | | |
| <p>【事業概要】</p> <p>「スマイビ」を導入することにより、認知症利用者の周辺症状である多動症の症状及び他害の危険のある利用者の情緒の安定化をはかり、一対一の職員の付き添い労力の削減、職員のストレスの軽減、介護事故の減少、利用者の心のケアを図る。</p> <p>【導入スケジュール】</p> <p>当該助成金の採択後、平成 30 年 9 月 1 日を導入予定とし、認知症利用者を対象に利用を開始する。</p> | | | |
| 【倫理面への配慮】 | | | |
| 利用者のご家族に対して、ロボット導入に関する説明を行う。 | | | |
| 【介護ロボット導入により達成すべき目標】(3年間目処) | | | |
| このロボットを導入することで、認知症利用者等の周辺症状の軽減、他害行為の減少、介護事故の減少、職員のストレスの軽減を図る。 | | | |
| 【介護ロボット導入により期待される効果等】 | | | |
| 認知症利用者の周辺症状、多動症、他害行為の減少、介護事故の減少が見込まれ、職員の介護労力の負担軽減が期待される。 | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名（社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会）

事業所名（第2春緑苑デイサービスセンター）

サービス種別（通所介護）

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
|--|-----------|--|--------------------|
| コミュニケーションロボット | | スマイル化 [®] - スマイビ [®] | |
| 導入時期（予定） | 導入台（セット）数 | 購入日（予定） | リースの契約期間（予定） |
| 平成30年9月1日 | 1台 | 30年9月1日 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| 【事業概要及び導入スケジュール】 | | | |
| <p>【事業概要】</p> <p>「スマイビ」を導入することにより、認知症利用者の周辺症状である多動症の症状及び他害の危険のある利用者の情緒の安定化をはかり、一対一の職員の付き添い労力の削減、職員のストレスの軽減、介護事故の減少、利用者の心のケアを図る。</p> <p>【導入スケジュール】</p> <p>当該助成金の採択後、平成30年9月1日を導入予定とし、認知症利用者を対象に利用を開始する。</p> | | | |
| 【倫理面への配慮】 | | | |
| 利用者のご家族に対して、ロボット導入に関する説明を行う。 | | | |
| 【介護ロボット導入により達成すべき目標】（3年間目処） | | | |
| このロボットを導入することで、認知症利用者等の周辺症状の軽減、他害行為の減少、介護事故の減少、職員のストレスの軽減を図る。 | | | |
| 【介護ロボット導入により期待される効果等】 | | | |
| 認知症利用者の周辺症状、多動症、他害行為の減少、介護事故の減少が見込まれ、職員の介護労力の負担軽減が期待される。 | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人弥富福祉会)
 事業所名 (デイサービスセンター 輪中の御)
 サービス種別 (通所介護)

| | | | |
|--|-----------|-------------|--------------------|
| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
| コミュニケーション | | スマイビ | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
| 30年 8月 / 日 | 1 体 | 30年 8月 / 日 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| <p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <p>デイサービスご利用者の自立支援に伴い、デイサービス職員の負担軽減をコミュニケーションロボットの技術を利用し、図る。</p> <p>介護ロボットの導入の決定 → 導入・購入 → デイサービス職員への利用方法の説明・研修 → 利用・利用後の効果検証 → 効果の報告</p> | | | |
| <p>【倫理面への配慮】</p> <p>デイサービス利用者に対しての尊厳を尊重し、利用者ご自身への自立支援と生活支援に重点を置く</p> | | | |
| <p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <p><デイサービス利用者> 「自発的な会話量の増加、表情が豊かになる、穏やかに過ごせる」ことにより、日常生活の向上を通じ、自立性へとつなげる。</p> <p><デイサービス職員> 利用者の不穏・興奮傾向への抑制、徘徊の抑制を事前に図る事での介護負担軽減。</p> | | | |
| <p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <p><デイサービス利用者> 「会話量の増加、表情の豊かさ、穏やかに過ごす」ことを通じ、日常生活での意欲向上・自立性の出現。</p> <p><デイサービス職員> ・利用者の不穏・興奮傾向・徘徊を事前に抑制できることでの身体的・精神的な負担軽減 ・生産性の向上。</p> | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 知立福祉会)
 事業所名 (ほほえみの里 デイサービスセンター)
 サービス種別 (通所介護)

| | | | |
|--------------|-----------|-------------|--------------------|
| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
| コミュニケーション | | スマイビ | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
| 30年9月1日 | 1体 | 30年9月1日 | 年 月 日から 年 月 日まで |

【事業概要及び導入スケジュール】

通所介護サービス利用者の自立支援に伴い、介護従事者の負担軽減をコミュニケーションロボットを用い図る。また認知症を発症されている利用者様の不安の軽減を図るうえでの介護従事者の負担軽減も図れると考える。

導入の決定→導入→納品→介護従事者等に利用方法の周知研修実施→効果の検証→報告

【倫理面への配慮】

利用する利用者様への尊厳を尊重し、利用者様ご自身への自立支援と生活支援に重きを置く事とする。

【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)

「利用者様」

導入後の会話量、表情の豊かさ、平穏化による日常生活の向上を通じ、ご利用者様の自立性の向上につなげる。

「介護従事者」

- ・ご利用者様の介護抵抗に対し、事前にスマイビとの交流を行うことにより抑制し、介護負担軽減する(説得負担の軽減)
- ・ご利用者様の徘徊や不安の抑制を事前に図る事により、介護負担軽減する。
(見守り、誘導、転倒防止負担)

【介護ロボット導入により期待される効果等】

「利用者様」

- ・導入後による活性化、平穏化傾向を通じ日常生活への動作意欲向上に伴う自立性の向上

「介護従事者」

- ・利用者様の介護抵抗低減に伴う生産性の向上
- ・利用者様の徘徊、不穏等の行動障害を事前抑制することによる介護従事者の身体的・精神的負担の軽減

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (社会福祉法人 福寿園)
 事業所名 (豊田福寿園デイサービス)
 サービス種別 (通所介護)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | | |
|--|-----------|----------------------------|------------------|---------|
| コミュニケーションロボット | | PALRO ビジネスシリーズ 高齢者福祉施設モデルⅡ | | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) | |
| 平成 30 年 10 月 1 日 | 1 台 | 平成 30 年 9 月 1 日 | 年 月 日から | 年 月 日まで |
| 【事業概要及び導入スケジュール】 | | | | |
| <p>コミュニケーションロボット PALRO を使用した、職員の業務負担軽減と施設利用者へのサービス向上を目指す。</p> <p>平成 30 年 9 月を目途に購入し、使用方法のレクチャーを受けた上で同年 10 月を目途に導入</p> | | | | |
| 【倫理面への配慮】 | | | | |
| <p>使用前に施設利用者、利用者家族へ導入機器や導入目的についての説明会の実施</p> <p>施設内にポスターを掲示する等、継続的に告知を実施</p> <p>使用に際して施設利用者が精神的に落ち着かない等ある場合、使用を停止することとする</p> | | | | |
| 【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処) | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・認知症機能の低下した利用者への対応についての職員負担の軽減(一時的コミュニケーションの代替え) ・レクリエーションに関わる職員負担の軽減(レクリエーションの準備や実施の時間の削減) ・施設利用者への PALRO による声掛けによる職員負担軽減並びに利用者満足度の向上 | | | | |
| 【介護ロボット導入により期待される効果等】 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・PALRO はコミュニケーションロボットであり、その実証実験で利用者の生活機能の改善が 37%見られ、また職員の負担軽減に関しても 44%が認められている。(2016 年度 AMED 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構実証実験) ・適切な運用をすることで職員負担の軽減を図り、且つ、利用者の生活機能の改善がみられるという効果を期待している。 ・介護職員の不足は喫緊の課題であり、コミュニケーションロボットによる職員が行う業務の代替え効果を期待す。 | | | | |

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入計画書

法人名 (株式会社サン・ドリームナゴヤ)
 事業所名 (グループホーム六じょうや)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

| 介護ロボットの種別 | | 介護ロボットの製品名 | |
|--|-----------|-------------|--------------------|
| コミュニケーション | | スマイビ | |
| 導入時期 (予定) | 導入台(セット)数 | 購入日 (予定) | リースの契約期間 (予定) |
| H30年9月1日 | 1個 | 平成30年9月1日 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| <p>【事業概要及び導入スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方々の概ねが好きで、喜ばれる赤ちゃんのロボットを導入することで、可愛い、愛らしいという良い感情が溢れてきて、心と脳の活性化に役立つ。好きな物を作ることで、毎日の生活が楽しくなり、落ち着くことで、認知症の進行を遅らせることができ、間接的に介護職員の負担軽減にも役立つと思われる。 ・導入の決定⇒導入⇒納品⇒介護職員の利用方法の研修⇒利用後の効果検証⇒効果の報告 | | | |
| <p>【倫理面への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の尊厳の尊重 ・利用者の自己決定権の尊重 ・利用者の自立支援の尊重 上記を尊重し、無理に使用させたり、使用させなかつたりしない。 | | | |
| <p>【介護ロボット導入により達成すべき目標】 (3年間目処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が、毎日かわいがる物があることで、楽しみができる。複数の仲間と一緒に会話する目的ができる。自主的な活動が増える。会話が増える。⇒認知症の進行が遅れる、又は良くなる。 ・マイナスな反応が出ないか観察する。 ・利用者が活発になることで、介護職員の負担軽減につながるか検証する。 ・赤ちゃんロボットに触れることでどのような変化があるのか検証する。 | | | |
| <p>【介護ロボット導入により期待される効果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間がロボットに助けてもらえる、いい関係が構築できる。 ・人間相手では遠慮があるので、ロボットになら本音を言いい本当の自分を解放できるようになり、安定した精神状態を維持できるようになるかもしれない。 ・介護者もロボットと協働で利用者を介護できるかもしれない。 | | | |